



ペットボトルを使った顕微鏡を製作する参加者ら
 〓浜松市中区の静岡大浜松キャンパス

顕微鏡作りに夢中

中区・静新SBSチャレンジクラブ
 静大教授講師に体験講座

県西部の小学3〜6年生を対象にした体験

型イベント「静新SBSチャレンジクラブ2014」(静岡新聞・静岡放送主催)の体験講座が3日、浜松市中区城北の静岡大電子工学研究所で開かれ、保護者を含む約60人が参加した。

同研究所の協力で、同大の原和彦教授と川田善正教授が講師を務めた。緑や青、赤3原色の蛍光体を溶かした液体を使って、人気アニメーションのキャラクターをモデルにした光る絵を描いたり、ペットボトルを活用し

た顕微鏡を作ったりと子どもたちは夢中になって取り組み楽しんだ。

父親と参加した日内地優斗君(11)〓同市南区〓は「うまくできて楽しかった」と話した。

防災・減災親子で学ぶ

袋井体験や劇で備え確認

袋井市浅名のメロープラザは2日、親子向けに防災・減災の意識を啓発するイベント「ぼうさいげんさいテーマパーク」(静岡新聞社・静岡放送後援)を同所で開いた。

減災を学ぶコーナーでは、来場者がチラシなどの紙を折って食器作りを体験した。コップを作った親子は実際にジュースを飲み、使い勝手を確かめた。風呂敷をバッグや包帯などに活用したり、ごみ袋をレインコート代わりにしたりする方法も紹介された。ホールで